

# 令和3年度 国本中学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画、網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

## 1 教育目標（目指す生徒像含む）

### （1）基本目標

人間尊重の精神を基盤に、やさしい心とたくましい気力・体力をもち、社会の発展に貢献できる人間を育成する。

### （2）具体目標

- |                  |                 |
|------------------|-----------------|
| ① 健康で意志の強い生徒     | ② 自ら学び創造力のある生徒  |
| ③ 心情豊かで思いやりのある生徒 | ④ 勤労を愛し実践力のある生徒 |

## 2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「学習活動に主体的に取り組む生徒の育成」 — 気づき、考え、感謝して行動できる生徒の育成 —  
 変化の激しい時代に適応し、目的意識をもって主体的に生きることのできる生徒の育成が学校教育に求められている。「自ら学び考える力の育成」を中核に、「学んだことを生かす力」や「意欲的に実践する力」の育成を通して、「主体的なものごとに取り組む生徒の育成」を図りたい。

## 3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 「生徒が明るく、いきいきと活動する学校」づくりに努める。
- (2) 生徒理解に基づいた生徒指導の充実に努める。
- (3) ○学習において、基礎・基本の定着を図るとともに、生徒を認め生かす授業の工夫に努める。  
 「とちぎっ子学力アッププロジェクト」生徒の学力アップにつながる研修に努める。  
 「道徳教育の充実」「主体的・対話的で深い学び」への授業改善に努める。
- (4) ○基本的な生活習慣と規範意識の育成に努める。
- (5) 教職員は教育の専門家としての自覚と使命感に基づいて、教育活動に取り組む。
- (6) 教職員が課題を共有し、協働して教育活動に当たれる職場づくりに努める。
- (7) 学校、家庭、地域の連携を深め、特色ある学校づくりを推進する。
- (8) 教職員の働き方に関すること
  - ① 勤務時間を意識するとともに業務の効率化を図る。
  - ② 勤務時間の管理及び部活動指導ガイドラインの遵守

〔国本地域学校園教育ビジョン〕

「自ら学び 心豊かで 元気な国本っ子」～地域とともにある学校をめざして～

## 4 教育課程編成の方針

地域協議会からの学校運営に関する意見を反映させた教育課程を編成する。

## 5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

### 【 学 校 運 営 】

○いきいきと学習活動等に主体的に取り組む生徒の育成

### 【 学 習 指 導 】

○生徒を認め生かす授業を展開し、学びに向かう力をもつ生徒の育成

### 【 児 童 生 徒 指 導 】

○ルールやマナーを守り、正しい判断力に基づいた行動のできる生徒の育成

### 【健康（体力・保健・食・安全）】

○自ら健康・体力の向上に努め、心身ともに健康でたくましい生徒の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所の下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
目 指 す 生 徒 の 姿	A 1 生徒は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】「生徒は授業中、話をしっかり聞いたり、発表したりするなど、進んで学習に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定回答 80%以上 生徒の肯定回答 80%以上	○①「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善 ②英語、数学における T・T や習熟度別学習の充実	B	【達成状況】 ・教職員の肯定的回答は 96.8%で、生徒の肯定回答は 89.6%でどちらも昨年を下回っているが、指標は上回っている。 【次年度の方針】 ・各教科で、設問の工夫、活動の工夫、ICTの効果的な活用を行うなど、宇都宮モデルに基づく授業改善を継続して進めていく。
	A 2 生徒は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】「生徒は誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒教職員の肯定回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上	①道徳教育、人権教育の充実 ②学校行事や各種体験活動における望ましい人間関係の構築	B	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 96.1%で、去年度 92.7%から 3.4%上昇している。 【次年度の方針】 ・道徳や各教科における人権教育を推進し、豊かな情操を育むとともに、道徳的判断力・実践力を育成する。
	A 3 生徒は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上	①生徒会を中心とした規範意識向上のための取組の充実 ②道徳の授業の充実	B	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答 90.4%で、教職員の肯定回答 90.3%でどちらも 90%を上回っている。 【次年度の方針】 ・生徒会を中心に規範意識向上の取組を充実させ、生徒の自覚を高める。 ・各種行事を通して、集団生活におけるマナーの大切さを身につけさせる。
	A 4 生徒は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定回答 80%以上 生徒の肯定的回答 80%以上	○①学校や地域学校園の「あいさつ運動」の推進 ②授業や部活動等、学校教育全般を通じた気持ちのよいあいさつの励行	B	【達成状況】 ・生徒の肯定的回答は 97.5%で、教職員は 87.1%で指標を上回っているが、保護者が 77.6%と下回っていることが課題である。 【次年度の方針】 ・普段の学校生活におけるあいさつの大切さを継続して指導していく。 ・社会体験学習を通して、学校生活だけでなく、社会に出た後もあいさつは基本的な礼儀であることを指導する。
	A 5 生徒は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】教職員の肯定的回答 80%以上	①学習や生活において、計画的に取り組む習慣の定着 ②学習や部活動において、困難なことにも根気強く取り組もうとする態度の育成	B	【達成状況】 ・生徒のみ昨年を上回り 85.1%だが、教職員 74.2%・保護者 74.3%と肯定的回答が指標を下回っているため課題である。 【次年度の方針】 ・結果だけでなく努力する過程の大切さや努力の積み重ねが将来的に必ず身になることを指導していく。

<p>A 6 生徒は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①適切な健康診断の実施と事後指導の徹底 ②交通安全教室や避難訓練を通じた安全指導の充実</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答 94.9%で、指標を達成している。 【次年度の方針】 ・健康診断の事後指導を通じ、早期治療を促す。 ・安全な登下校や災害時の対処の仕方についての指導を徹底する。</p>
<p>A 7 生徒は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①キャリア教育の推進 ②教科や道徳における社会貢献の必要性や重要性の指導充実</p>	<p>A</p>	<p>【達成状況】 ・生徒のみ昨年を上回り 85.1%だが、教職員 74.2%・保護者 74.3%と肯定的回答が指標を下回っているため課題である。 【次年度の方針】 ・キャリア教育を通じ、生涯にわたって学び続ける意欲や、社会人としての基礎的資質・能力を育成していく。</p>
<p>A 8 生徒は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①英語の授業における会話活動の充実 ②ALT の積極的活用</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定回答 87.3%と指標を達成している。 【次年度の方針】 ・言語活動の充実を図り、ALT の一層の活用を図る。</p>
<p>A 9 生徒は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①社会科や国中ウオークラリーにおける郷土学習の充実 ②道徳における郷土愛の涵養</p>	<p>A</p>	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答、昨年 74.7%から 77.2%、保護者 55.5%から 63.8%と上昇したが、どちらも指標を下回り課題である。 【次年度の方針】 ・社会科における郷土学習や国本地区の史跡巡りを通じ、宇都宮（栃木県）のよさを再認識させていく。</p>
<p>A 10 生徒は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①ICT 機器や図書館を積極的に活用した授業の展開促進 ②効果的な活用法に関する職員研修の充実</p>	<p>A</p>	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答昨年 92.1%から 96.8%になり、生徒の肯定回答 72.0%から 74.4%と上昇した。 【次年度の方針】 ・職員研修や情報共有を通して、教育活動全体で1人1台端末を活用できるように、教職員の ICT スキルアップ向上を目指す。</p>
<p>A 11 生徒は、高齢者に対する感謝やいたわりの心を持っている。 【数値指標】保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①福祉教育の充実 ②行事や高齢者福祉施設における交流活動の推進</p>	<p>B</p>	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答 87.8%（去年度 86.5%）で、指標も達成している。 【次年度の方針】 ・委員会活動などを通じ、地区の高齢者施設とかかわりをもっていく。その活動の中で高齢者を敬い、いたわろうとする心を育てていく。</p>

	<p>A12 生徒は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。</p> <p>【数値指標】生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①社会科や理科、技術・家庭科における環境教育の推進</p> <p>②生徒会を中心としたリデュース・リユース・リサイクル活動の推進</p>	A	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の肯定回答昨年 63.0%から 71.0%と上昇している。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の学習や生徒会の活動を通し、自分たちでもできる環境保全活動に対する興味・関心を高めていく。</li> </ul>
	<p>B2 生徒はきまりを守り、互いに協力し合って、学校生活を送っている。</p> <p>【数値指標】生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①生徒会を中心とした規範意識向上のための取組充実</p> <p>②道徳の授業充実</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の肯定的回答 94.9%で、指標を上回っている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活委員会による生活目標の設定や呼びかけを徹底させ、生徒の自覚をより一層高める。</li> <li>・道徳の授業を充実し、公德心を育む。</li> </ul>
	<p>B3 生徒は、自主的に自分の健康には注意をして生活をしている。</p> <p>【数値指標】生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①適切な健康診断の実施と事後指導の徹底</p> <p>②保健体育の授業の充実</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の肯定的回答 94.1%で、指標を上回った。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断事後措置を迅速に行い、保健だよりや保健体育の授業を通して、健康の大切さについての意識を高めていく。</li> </ul>
目 指 す 学 校 の 姿	<p>A13 教職員は、特別な支援を必要とする生徒の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①特別支援教育の推進</p> <p>②校内支援委員会や職員研修の充実</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の肯定的回答 90.3%で、指標を上回っている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援を要する生徒に対する理解を深め、実情に応じた支援について組織体制で検討・実施していく。</li> </ul>
	<p>A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。</p> <p>【数値指標】生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①アンケートによる実態把握</p> <p>②教育相談の充実</p> <p>③生活委員によるいじめ撲滅集会の実施と啓発リボンの制作</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の肯定的回答 96.9%（去年度 95.1%）で指標を上回っている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートや教育相談の定期的な実施とともに、生活委員によるいじめ撲滅活動を充実するとともに、学校の取組について地域・保護者に情報発信していく。</li> </ul>
	<p>A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。</p> <p>【数値指標】教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①自己存在感や自己有用感が感じられる学級経営の工夫</p> <p>②道徳や行事等を通した温かい学級集団づくり</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の肯定的回答は 96.8%で、生徒の肯定回答は 96.1%で指標を上回っている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人に役割を与え活動させることで自己存在感を充足させるとともに、互いの良さを認め合える温かい雰囲気醸成していく。</li> </ul>
	<p>A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。</p> <p>【数値指標】教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①関係機関との連携</p> <p>②組織体制による支援</p>	B	<p>【達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の肯定的回答 90.3%で、指標を上回っている。</li> </ul> <p>【次年度の方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在外国人生徒は在籍しないが、今後状況に応じて関係機関と連携を図りながら支援をしていく。</li> </ul>

<p>A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。</p> <p>【数値指標】「私は、今の学校が好きです」 ⇒生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学校行事や体験活動（草花や農作物の栽培、社会奉仕活動）の充実 ②諸検査をもとにした事例研究 ③生活ノートを活用した生徒理解と支援の充実</p>	A	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答 90.4%（去年度 85.4%）で、指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒の実態に合わせ、学校行事を通じた体験活動を、より一層充実させていく。</p>
<p>A18 教職員は、分かる授業や生徒にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。</p> <p>【数値指標】生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①目標の明確化と授業の振り返りの実践 ②オープンスクールに合わせた、教師同士の授業公開による校内研修の充実</p>	B	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答 93.0%（去年度 91.4%）で、指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・全国学力学習状況調査やとちぎっ子学習内容定着度調査等の結果と分析、傾向と対策を共有し、今後の指導に生かしていく。またホームページ等で情報を生徒・保護者にも発信し、学習に対する意識を高めていく。</p>
<p>A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①校務分掌の見直しと改善 ②校務に関わる組織体制の整備と強化</p>	B	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答 80.6%で、指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・教職員の異動があっても、スムーズに引継ぎができるよう、校務内容を整理・ファイリングしておく。</p>
<p>A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①業務内容の見直しと改善 ②出退勤時間の管理と指導・助言</p>	B	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答 67.7%で、指標を下回っているため課題である。</p> <p>【次年度の方針】 ・各種行事や業務内容を見直し、削減や効率化できるものについて、徐々に改善を図っていく。</p>
<p>A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。</p> <p>【数値指標】保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①相互乗り入れ授業や合同あいさつ運動の実施 ②小6 中学校訪問</p>	B	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答 84.7%で、地域住民の肯定回答 100%で指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・乗り入れ授業やあいさつ運動は、今後も定期的に実施し、中学校訪問ではオンラインを活用も視野に入れて実施する。</p>
<p>A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。</p> <p>【数値指標】保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①地域協議会を中心に、国本地区の伝統的行事への生徒の積極的参加体制づくり ②PTA 活動の推進</p>	B	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答 84.2%で、地域住民の肯定回答 87.5%で指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・PTA や地域協議会との連携を図り、学校教育活動や地域行事のさらなる充実を図る。</p>
<p>A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい生徒の育成に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①積極的な情報発信による家庭との連携強化 ②地域学校園における情報交換</p>	B	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答 84.2%で、地域住民の肯定回答 87.5%で指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・地域学校園で情報交換をしながら、連携して児童・生徒の健全育成を図っていく。</p>

	<p>A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。</p> <p>【数値指標】保護者・地域の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①毎月の安全点検の徹底 ②教育委員会や機動班・業者と連携した速やかな改善・処理</p>	B	<p>【達成状況】 ・保護者の肯定的回答 88.1%、地域住民去年・本年度ともに 100%で、指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・日頃から施設・設備の状況に目を配り、不具合を発見した場合には、速やかに対応する。</p>
	<p>A25 学校は、学習に必要な ICT 機器や図書等を整えている。</p> <p>【数値指標】生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①ICT 機器の活用に関する職員研修の充実 ②図書選定委員会を中心とする計画的な図書の補充</p>	A	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答昨年 92.1%から 96.8%になり、生徒の肯定回答 72.0%から 74.4%と上昇した。</p> <p>【次年度の方針】 ・実物投影機や、予備のクロームブック等の情報機器が効果的に活用できるように、行内整備を見直す。</p>
	<p>B1 教職員は、教育課程の編成に全員が積極的に取り組んでいる。</p> <p>【数値指標】教職員の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①各校務分掌の見直しと組織体制の強化 ②学校の取組に関する保護者への積極的な情報提供</p>	B	<p>【達成状況】 ・教職員の肯定的回答 80.6%で、指標を達成している。</p> <p>【次年度の方針】 ・前年度の反省を踏まえて工夫・改善に努め、教職員が同一歩調で学校運営を推進する。学力向上に関する取組については、保護者への広報活動を継続していく。</p>
<p>本校の特色・課題等</p>	<p>B4 生徒は何事にも主体的に取り組む、いきいきと活動している。</p> <p>【数値指標】生徒の肯定的回答 80%以上</p>	<p>①学校生活のマナーをまとめた「国本中スタンダード」の指導と実践 ②生徒会活動の充実</p>	B	<p>【達成状況】 ・生徒の肯定的回答 94.1%で、指標を上回っている。</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒が主体的に取り組めるような活動や行事を意図的に設定し、生徒への支援を教員同士で話し合いながら工夫していく。「国本中スタンダード」をもとに、規範意識の浸透を図る。</p>

### 〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

・教職員の回答について、本年度と去年度を比較すると、A10、A25「ICT機器や図書等の活用」以外全ての項目で、肯定的回答の割合が本年度は低くなっている。ただし、A12「持続可能な社会」について関心をもっている以外は、数値指標の80%以上の肯定的回答とはなっている。このことから持続可能な社会について関心を持たせる指導に関しては、喫緊の課題である。また生徒の回答については、例えば、A4「あいさつ」に関して、教職員と保護者が去年度より本年度の方が低い肯定的回答なのに反して生徒のみ高い。同様な事項がいくつか見られることから、より下位的な段階の分析が必要である。○基本的生活習慣の定着や学力向上については、地域学校園共通の課題として、小中で定期的に情報交換や検証をしながら今後も継続して取り組んでいきたい。

## 7 学校関係者評価

- ・「いじめ対策」に関する肯定的回答が、地域住民からのアンケートでは、去年度 100%から 80%になった。原因を追及し、その改善に努めることが課題となる。
- ・きまりやマナーを守って、明るく挨拶し生活している等の項目は、よい回答であった。
- ・毎年の課題であるが、下校の際の自転車の乗り方（特に並走）が危険で心配である。

## 8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・教職員、生徒、保護者間で数値のギャップが大きい項目については、その原因と改善策について精査・検討をしていく。
- ・市の施策との関連を図り、数値の低かった項目は、各教科・領域等で具体策を検討しながら、意識的に指導していく。
- ・生徒の安全対策（交通安全・不審者対応等）については、家庭や地域の協力も要請しながら、継続実施していく。
- ・働き方改革を推進し、学校の資本である教職員が元気に働ける環境作りに努めることが重要である。持続可能な社会についての教育活動を工夫することも求められる。また、情報教育推進のため、職員研修の充実を図る。

○学力向上及び不登校対策については、引き続き小中で連携し情報交換をしながら進めていく